



あっ危ない!

レーザーポインターで遊ばないように

会議や講演などで、指示棒代わりに使用される「レーザーポインター」でおもちゃタイプのものが、子供達の間で広まっています。

これらレーザーポインターは文房具や玩具売場などで気軽に購入でき、ゲームセンターの景品などとしても手に入れることができます。

最近、このレーザーポインターで遊んでいて、レーザー光線が目に入り視力障害を起こすなどの事故報告や危険性が報告されています。

次の点に注意しましょう!

- ★レーザーポインターは遊び道具としては非常に危険なので、保護者の方は子供に買い与えないように。また、子供がこづかいなどで手にしないように注意しましょう。
- ★レーザーポインターを遊び道具として使用して他人に当たり、いたずらや遊びでは済まされず、責任が問われることがあります。
- ★万が一、レーザー光線が目に入った場合は、眼科医に診てもらいましょう。

※平成13年2月28日から、レーザーポインターなどについて、販売規制(消費生活用製品安全法に基づく規制)が開始されました。



規制の内容

文具(事務機器)専用と認められる製品で、本体に上記のマークが付されているものに限って販売が認められます。文具用であってもマークが付されていない製品や、レーザー玩具(レーザー光を遠くに放つ玩具)の販売は禁止されます。

<事故例1>

友達のレーザーポインターの光線が息子の目に当たり網膜がやけど状となり、1年たった現在も視野に後遺症が残っている。(12歳 男児)

<事故例2>

同級生から、ゲームセンターの景品のレーザーポインターの光線を目に当てられ、視力が低下し頭痛が起きた。(14歳 男児)

第五十三回消防記念日

三月十日、甲府市の県民文化ホールにおいて、第五十三回消防記念日式典が行われました。

この式典は、昭和二十三年三月七日に、消防組織法が施行された現在の自治体消防が発足したのを記念して、毎年開催されています。式典において、消防行政に多大な功績を残された都留市の消防職、団員が表彰されました。

日本消防協会長表彰

- (功績章) 分団長 吉村貞夫
- (精績章) 副団長 花田 武
- 山梨県知事表彰 (勲功章) 消防司令 長田邦行

住宅防火診断の実施

消防本部では春の火災予防運動の一環として、三月三日に市内の独居老人宅の「住宅防火診断」を実施しました。

この住宅防火診断は、高齢者など災害弱者の住宅防火意識の高揚と住宅火災の防止を図る目的で、毎年三月三日と十一月十一日を「住宅防火の日」と定め、山梨県、各消防本部、山梨県住宅防火対策推進協議会の主催により実施されるものであります。

今回は、協賛団体である山梨県エルピーガス協会の協力を得て、市福祉事務所職員と共に、三吉・開地地区の独居老人宅を訪問し、ガスレンジなどの点検と防火指導を実施しました。

城下町奉行だより

新入学児童及び新入学生 の各種事故防止

気候も温暖になり、気持ちも上機嫌になってきます。特に、新しく学校に入学した児童は、毎日張り切って登校し、友達とおしゃべりやふざけながら歩くものです。そのような児童にとっては、車の動きなど目に入りません。急に道路の真ん中に出て来たり、横断し始めたりすることがあります。大人の目線では、児童の存在がちょうど「死角」の範囲になります。道路上に子供を見かけたら、減速しましょう。

交通安全スローガン

あぶないよ よそみ
おしゃべり ふたりのり

新学期が始まり、都留市内には多くの学生であふれます。学生によくある事故などには、次のようなものがありますので注意してください。

- バイクの交通事故
- 自転車・バイクの盗難事故
- 友達関係のトラブル
- ストーカー行為による被害

※警察では、学校の学生指導担当者や各種アパート防犯団体などと連絡を密にして情報交換をし、事故・犯罪の未然防止と問題解決に努めています。